

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 46 回通常総会

【報告書】

- 1) 2020 年度事業報告
- 2) 2021 年度事業計画
- 3) 2021 年度収支予算

【議案書】

第 1 号議案：2020 年度決算承認の件
監事監査報告書

2021 年 5 月 24 日（月） 於 （一社）協力隊を育てる会事務局



目 次

【報告書】

2020 年度役員、顧問・参与一覧	P4
2020 年度事業報告	P5
2021 年度事業計画	P25
2021 年度収支予算	P37

【議案書】

第 1 号議案：2020 年度収支決算承認の件	P41
監事監査報告書	P47

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、敬称略としております。

注 2：本冊子記載の青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊情報（帰国隊員を含む）は【氏名／派遣国／職種／隊次（西暦●●●●年度●次隊）】の順で表記しています。

注 3：本冊子では青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊を【協力隊】と、また全国育てる会ならびに関係団体の名称を一部略して記載しております。

＜2020 年度役員および顧問・参与一覧＞

1	会長	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
2	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
3	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
4	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	常任理事	奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
6	理事	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
7	理事	上田 みどり	広島県青年海外協力隊を育てる会会長
8	理事	澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長
9	理事	重 政子	NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
10	理事	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
11	理事	田口 努	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
12	理事	棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
13	理事	土井 章	グローバル・コンパクトネットワーク・ジャパン CSO
14	理事	山根木晴久	日本労働組合総連合会運動推進局長
15	監事	福龍 健一	千葉県海外協力隊を育てる会理事
16	監事	中村 義人	公認会計士、放送大学客員教授

1	顧問	足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
2	顧問	大島 賢三	一般社団法人アフリカ協会理事長
3	顧問	黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
4	参与	伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
5	参与	井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
6	参与	大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
7	参与	大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
8	参与	小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
9	参与	小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
10	参与	坂本 瑞夫	愛知県青年海外協力隊を支援する会会長
11	参与	高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
12	参与	竹原 玲児	一般社団法人日本経済団体連合会国際協力本部長
13	参与	谷川与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
14	参与	野口 光一	一般社団法人全国農業協同組合中央会総務企画部総務課
15	参与	吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
16	参与	森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員

2020 年度事業報告
2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

2020 年度事業方針

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に活かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. JICA 海外協力隊活動ならびに社会還元活動の好事例集制作
2. 応募勸奨活動等による全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
3. JICA 海外協力隊事業の理解促進等による「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals) への貢献

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

協力隊活動ならびに
社会還元活動の
好事例集制作

全国育てる会と
JICAとの
パートナーシップ強化

JICA海外協力隊事業の
理解促進を通じた
SDGsへの貢献

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの
販売

カタログギフトの
販売

協力隊グッズの
販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハートプロ
ジェクト

帰国隊員/青年支援
プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

web・SNSによる
情報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国後事務手続き
現職参加促進業務

草の根技術協力
事業

総務活動

各種会議等の
開催

2020 年度事業報告

【重点事業】

1. JICA 海外協力隊活動ならびに社会還元活動の好事例集制作

1) 帰国隊員による社会還元事例の発掘および紹介

実施 : 通年

概要 : 育てる会ニュースにて 42 件掲載

備考 : 日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会の記事は 29 連載中

2) 帰国隊員による社会還元事例集（日本も元気にする JICA 海外協力隊）の制作

実施 : 通年

概要 : 受託業務として 17 件実施

3) 農業分野等における現地活動事例集の制作

実施 : 通年

概要 : 受託業務として企画提案中

2. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) JICA 海外協力隊一時帰国者等への支援

実施 : 通年

概要 : 一時帰国隊員等への就労・インターン・研修・ボランティアの紹介

備考 : 北海道青年海外協力隊を育てる会では地元企業と連携し求人フォームをネット掲載

2) JICA 海外協力隊の理解促進活動

(1) 企業団体向けセミナーの開催

実施 : 通年

概要 : 受託業務として 4 件実施

①東京零環ライオンズクラブチャーターナイト記念式典シンポジウム

日時 : 6月28日(日) 15:55~16:15

場所 : 主婦会館プラザ・エフ

参加 : 都内ライオンズクラブ会員等 55 名

②第 98 回 whats 交流会

日時 : 9月23日(水) 18:30~21:00

場所 : 主婦会館プラザ・エフ

参加 : 社会貢献団体やボランティア団体会員等 22 名

③あいち国際交流はなのき会セミナー

日 時 : 11月21日(土) 10:00~12:00

場 所 : JICA 中部

参 加 : はなのき会会員、市議会議員、企業団体管理職等 50 名

④東京レスキューライオンズクラブ設立 10 周年記念例会

日 時 : 2021年3月28日(日) 14:00~18:00

場 所 : 主婦会館プラザ・エフ

参 加 : 都内ライオンズクラブ会員等 100 名

(2) シンポジウムの開催

実 施 : 今年度はコロナ禍により次年度に延期

概 要 : (独) 国立青少年教育振興機構、JICA、当会の三者にて実施した「青年海外協力隊
帰国者の意識等に関する調査研究」から考える外向き志向の人材育成について

主 催 : (一社) 協力隊を育てる会

共 催 : JICA、(独) 国立青少年教育振興機構

講 師 : 明石要一(教育学者、当会理事)、尾木直樹(教育評論家)、他帰国隊員

備 考 : 2021年3月16日(火)に(独) 国立青少年教育振興機構より、報告書『青年海
外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究』発行と同時に報道発表を実施。

(3) 全国育てる会代表者会議の開催

実 施 : 今年度はコロナ禍により中止

3) 全国育てる会活動

(1) 周年事業

①福岡県青年海外協力隊を支援する会設立 40 周年記念式典

開催日 : 9月13日(日) 10:00~17:00

場 所 : エルガーラホール

概 要 : 支援功労者表彰、協力隊活動写真展、事業説明会の開催等

②愛媛県青年海外協力隊を育てる会設立 30 周年記念事業

開催日 : 7月13日(月) 10:30~10:50

場 所 : 愛媛県庁

概 要 : 県伝統工芸品である砥部焼の「地球儀」の寄贈

制 作 : 白潟八州彦氏(1967-3・フィリピン・窯業)

(2) 名称変更

①千葉県

変更日 : 9月19日(土)

変更前 : 千葉県海外協力隊を育てる会

変更後 : 千葉県 JICA 協力隊を育てる会

変更理由 : JICA 海外協力隊事業の制度変更に伴い設立 10 周年に合わせて実施

(3) 各種イベント

①途上国と東北をつなぐオンラインセミナー

～タイ、タンザニアの課題・ニーズ、東北企業の途上国進出に向けた取り組み～

開催日 : 2021年2月12日(金) 14:00~16:00
場 所 : オンライン (Zoom)
共 催 : 協力隊を支援するやまがた地球家族の会、JICA 東北、(一社)協力隊を育てる会
協 力 : JETRO 山形、NPO 法人山形県青年海外協力協会
講 師 : 渡邊進氏(株式会社メタルプロダクツ代表取締役)、遠藤秀文氏(株式会社ふたば代表取締役社長)、JICA タイ事務所、JICA タンザニア事務所
概 要 : 中小企業・SDGs ビジネス支援事業の好事例紹介 等
参 加 : 約 60 名

②開発教育セミナー「これからの国際協力、途上国支援、協力隊」

開催日 : 2021年3月13日(土) 14:00~15:00
場 所 : JICA 中部/オンライン (Zoom)
主 催 : 愛知県青年海外協力隊を支援する会
共 催 : JICA 中部
後 援 : (一社)協力隊を育てる会
講 師 : アーナンダ・クマール氏(名城大学外国語学部教授)
概 要 : 外国人から見た JICA 海外協力隊事業の評価、日本の国際協力の在り方 等
参 加 : 約 100 名

3. JICA 海外協力隊事業を通じた SDGs への貢献

1) カレンダーの制作・販売

テーマ : FUN FAN (協力隊や途上国を楽しく知ってファンになろう)
概 要 : 派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用したオリジナルカレンダー
仕 様 : A4 横/フルカラー/14 枚綴り (28P) /オリジナル名入れ・メッセージ印字
価 格 : 1 部 1,100 円 (税込/会員 800 円/3 部以上購入の場合 1 部 600 円)
制 作 : 5 月より写真募集/8 月に写真選考/9 月末より販売開始
制作数 : 9,234 部 (8,834 部+増刷 400 部/前年度 12,500 部)
売 上 : 4,538,200 円 (税込)
販売数 : 8,952 部
配布数 : 235 部 (販促用として)
残 数 : 47 部 (広報用として使用予定)
備 考 : SDGs バッチプレゼント実施 (2,008 個配布)

【理解促進事業】

1) 各種イベントの開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、社会情勢に合わせながら帰国隊員の活動報告会をはじめとするイベントの開催を計画したが、コロナ禍によりいずれも実施を中止した。

(1) 家族交流会

実 施 : 今年度はコロナ禍により中止

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者

(2) 帰国報告会

実 施 : 今年度はコロナ禍により中止

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者、社会貢献団体、企業・団体関係者等

2) 「視察の旅」等の企画・実施

隊員家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として実施してきたが、コロナ禍により全派遣国の隊員が一時帰国したため、企画・実施を中止とした。

(1) 視察の旅

実 施 : 今年度はコロナ禍により中止

(2) スタディツアー

実 施 : 今年度はコロナ禍により中止

3) 「持続する情熱」等、協力隊関連書籍の拡販

(1) 東京 2020 大会に関連した販売

実 施 : 通年

概 要 : 隊員派遣国とホームタウン協定を結んでいる自治体（約 200 市町村）に JICA 支援を得て「持続する情熱」等を寄贈し、協力隊事業への理解促進を図る。

配布数 : 現在 JICA と交渉中

(2) 隊員家族等への販売

実 施 : 通年

概 要 : 当会主催事業参加者等を対象に「持続する情熱」等を販売

① 青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」（ダイジェスト版）

配布数 : 1 冊

残 数 : 174 冊

② 青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」（完全保存版）

体 裁 : A4 判 / 416 ページ / フルカラー

販売数 : 5 冊

残 数 : 257 冊

③青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」（英語版）

体 裁 ： A4 判 / 128 ページ / フルカラー

残 数 ： なし

④「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔ける日本青年の素顔～」

体 裁 ： 新書判 / 232 ページ / モノクロ

配布数 ： なし

残 数 ： 63 冊

4) 協力隊関連グッズの販売

実 施 ： 通年

概 要 ： 協力隊 T シャツ、ミカフェートコーヒー、JOCV & SDGs バッチの販売

(1) JICA 海外協力隊 T シャツの制作・販売

価 格 ： 2,200 円 (税込)

販売数 ： 26 枚

売 上 ： 52,400 円

(2) JICA 海外協力隊ピンバッジの制作・販売

価 格 ： 880 円 (税込)

販売数 ： 1 個

売 上 ： 880 円

(3) 「いつか世界を変える力になる」コーヒー（ミカフェートとのコラボレーション）の販売

価 格 ： 1,000 円 (税込)

販売数 ： 130 パック (5 袋入) ※サンプル配布含む、完売

売 上 ： 112,500 円

5) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売した。

ブランド：「GLOBAL SPROUT」（グローバルスプラウト）

概 要 ： 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

売 上 ： 187,720 円 (税込)

販売数 ： 35 件 (スプラウト@4,280 円×18 件 / リーフ@6,480 円×17 件)

6) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う計画であったが、コロナ禍により多くが実施中止となった。

- (1) 協力隊まつり 2020
主 催 : 協力隊まつり応援オンラインイベント実行委員会
日 時 : 4月25日(土) 14:00~16:20
概 要 : 秋山愛子氏(国連アジア太平洋経済社会委員会社会問題担当官)による講演、一時帰国隊員および協力隊参加予定者による意見交換等
参 加 : 藤澤職員
- (2) 第91回メーデー中央大会
主 催 : 第91回メーデー中央実行委員会
実 施 : 4月29日(水)の開催はコロナ禍により中止
場 所 : 代々木公園
- (3) サマーコンファレンス 2020
主 催 : 公益社団法人日本青年会議所
実 施 : 7月の開催はコロナ禍により中止
場 所 : パシフィコ横浜
- (4) グローバルフェスタ JAPAN2020
主 催 : グローバルフェスタ実行委員会
実 施 : 9月末の開催はコロナ禍により中止
場 所 : 無し
- (5) キッズフェスタ in 大井競馬場
主 催 : ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
実 施 : 9月の開催はコロナ禍により中止
場 所 : 大井競馬場
- (6) 第18回日比谷公園ガーデニングショー2020
主 催 : 日比谷公園ガーデニングショー実行委員会
実 施 : 10月の開催はコロナ禍により中止
場 所 : 日比谷公園
- (7) SEISA Asia Africa Bridge
主 催 : 公益財団法人世界こども財団
実 施 : オンライン開催に伴う企画変更のため参加せず
場 所 : 星槎中学高等学校
- (8) 太平洋諸島ってどんなところ?—文化・経済・疾病・暮らし—
主 催 : 太平洋同好会事務局
日 時 : 11月7日(土) 13:30~14:30
場 所 : オンライン (Zoom)
概 要 : 一盛和世氏(太平洋同好会代表/サモア OG)による同会設立の紹介、高橋明子氏(国際機関太平洋諸島センター次長)等による現地事情の講演等
参 加 : 熊野職員

(9) 第4回全国OV教員・教育研究会シンポジウム

「協力隊を日本の文化にする」～グローバルな視点をVUCA時代に活かす～

主催：全国OV教員・教育研究会、JICA

日時：12月27日（日）13：00～16：50

場所：オンライン（Zoom）

概要：佐藤真久氏（東京都市大学環境学部教授）、宮沢一朗氏（UNESCOタイ専門家／ケニアOB）による講演と参加者による分科会等

参加：伊藤職員

(10) 2021年度京都会議

主催：（公社）日本青年会議所

実施：ハイブリッド開催に伴う企画変更のため参加せず

場所：国立京都国際会館

(11) 東日本大震災10周年シンポジウム

「地域のレジリエンスに貢献する青年海外協力隊の経験」

主催：日本も元気にする青年海外協力隊OB会

共催：（一社）協力隊を育てる会、（公社）青年海外協力協会

日時：2021年3月8日（月）19：30～21：30

場所：オンライン（Zoom）

概要：岡部恭宜氏（JICA 緒方貞子平和開発研究所客員研究員）、元持幸子氏（NPO 法人 つどい事務局長／コスタリカOG）、青木淳氏（公益社団法人青年海外協力協会職員／ケニアOB）、西城幸江（国際協力NGOピース・ウィンズ・ジャパン職員／パラグアイOG）による講演とパネスディスカッション

参加：大石局長、滝澤編集長、伊藤職員、阿部職員

7) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行った。

(1) 進路相談の実施

実施：通年

概要：就職や転職、進学等へのアドバイス

(2) 婚活イベントの開催

実施：今年度はコロナ禍により実施中止

備考：開催要望の声が多いことから次年度以降に他行事との共催を含めて検討

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して、支援金を日本全国から募る事業。今年度は審査を進めていた案件が3件あったものの、コロナ禍により申請隊員の退避及び派遣期間の終了に伴う辞退により、中断または終了となった。尚、支援者からいただいた寄付金については預り金として計上、再派遣が進み隊員からの申請が始まり次第、支援を行う予定。

支援金額：1件につき上限 300,000 円

支援件数：今年度はコロナ禍により支援せず

主な支援：足利市社会福祉協議会より 85,493 円（4月6日）

全国電力関連産業労働組合総連合（電力総連）より 600,000 円（2月17日）

国際ソロプチミスト東日本リジョン東京-山の手より 50,000 円（3月16日）

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援した。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：3,200,000 円

募集期間：7月1日（水）～8月31日（月）

審査選考：10月13日（火）に選考委員会を実施

応募：19名（協力活動10名・調査研究9名）

結果：9名（協力活動4名・調査研究5名）への支援決定

<協力活動>

	受給者名	派遣国／職種／隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	上原慶子	カンボジア 青少年活動 2017-1	カンボジア王国ポーサット州における幼児教育 NGO「Tuk Tuk」での「デジタルライブラリープロジェクト」	カンボジア
2	中東愛	スーダン 障害児・者支援 2016-3	スーダン公立学校での初等中等音楽教育の確立と普及を目指すプロジェクト	スーダン
3	松尾雄大	セネガル 小学校教育 2016-2	セネガルにおけるスポーツを通じた障害者のエンパワメントと社会参加促進活動及び予備的調査	セネガル
4	森栄梨子	ホンジュラス 村落開発普及員 2010-4	婦キャベ海外協力隊プロジェクト	日本（群馬県）

<調査研究活動>

	受給者名	派遣国／職種／隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	赤穂沙織	マダガスカル コミュニティ開発 2018-1	マダガスカル中央高地 農村生活実態調査	マダガスカル

	受給者名	派遣国／職種／隊次	プロジェクト名称	活動地域
2	浅田南	ベトナム コミュニティ開発 2014-2	～ベトナム人技能実習生の現実と課題～ 夢を持って来日してきたベトナム人技能実習生の現状や当事者の声を調査し、問題点やその解決方法を研究し、ルポタージュとしてまとめる	日本 ベトナム
3	小林恵美	ザンビア コミュニティ開発 2017-3	新型コロナウイルス感染症下におけるザンビア共和国の医療従事者のモチベーションについて	ザンビア
4	角正美	タンザニア コミュニティ開発 2017-2	タンザニア地方政府における自律性と活動量の規定要因の解明	タンザニア
5	堀江早喜	ボリビア 栄養士 2006-1	JOCV 栄養士隊員（OG・OB 含む）ネットワーク構築と教材作成に向けたアンケート調査	日本

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象に、返済義務を付した奨学金を給付し支援した。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：500,000 円

募集期間：7月1日（水）～8月31日（月）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

応募：1名

結果：1名への支援決定

	受給者名	派遣国／職種／隊次	就学先	修了予定
1	鈴木智也	スーダン コミュニティ開発 2014-2	秋田大学医学部医学科	2023年 3月

4) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付した。

支援金額：1組織につき上限 80,000 円

給付総額：3,302,000 円

給付組織：42 組織

給付時期：2021 年 4 月上旬

対象事業：以下の 4 事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

5) コロナ禍に対する各種支援

一時帰国した隊員をはじめ医療現場で活躍する帰国隊員らの活動のほか、子ども食堂への支援を実施した。

(1) 一時帰国隊員へのマスク配布

支援先 : JICA 東京にて 2 週間待機を行っている一時帰国隊員

支援物 : 不織布マスク×300 枚

実施日 : 4 月 1 日 (水)

物資提供 : 一般社団法人障害者の差別の禁止・解消を推進する全国ネットワーク

(2) 帰国隊員へのマスク配布①

支援先 : 以下の医療機関等に勤務する帰国隊員

- ・日本赤十字社和歌山医療センター
- ・愛知医科大学看護学部

支援物 : 不織布マスク×300 枚

実施日 : 4 月 15 日 (水)

物資提供 : 一般社団法人障害者の差別の禁止・解消を推進する全国ネットワーク

(3) 帰国隊員へのマスク配布②

支援先 : 以下の医療機関等に勤務する帰国隊員

- ・愛知医科大学看護学部
(学部長 : 坂本真理子 / 1987-1・マレーシア・保健師)
- ・富山福祉短期大学看護学科
(助教 : 山崎智恵 / 2010-1・シリア、モロッコ・保健師)

支援物 : 不織布マスク×1,800 枚

実施日 : 5 月 29 日 (金)

物資提供 : ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

支援協力 : 愛知県青年海外協力隊を支援する会、富山県青年海外協力隊を育てる会

(4) 子ども食堂への食品等配布

支援先 : 台東区子ども食堂

支援物 : インスタント粥×500 食分、その他お菓子、調味料等

実施日 : 5 月 18 日 (月)

物資提供 : 一般社団法人食品ロス・リボーンセンター

支援協力 : 公益社団法人日本青年会議所、東京浅草ライオンズクラブ、東京零環ライオンズクラブ

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数 : 約 5,000 部/毎月 (赴任中の協力隊員には PDF 配信)

仕様 : モノクロ/タブロイド版/4 ページ

構成 : 1 面~最新トピックス

2 面~全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面~派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面~各種インフォメーション

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業及び育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信した。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報 (告知及び報告等) の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) 一時帰国中隊員及び帰国隊員向へのメーリングリストによる情報提供

育てる会活動を広く周知し、当会と帰国隊員とのネットワークを構築するため、以下の情報等を発信した。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 全国育てる会へのメーリングリストによる情報提供

コロナ禍にて応援団の活動が制限される中、JICA海外協力隊事業に関する知識・情報を蓄積するとともにより事業への関心を高めることを目的に、一時帰国中隊員の動向や帰国隊員による社会還元活動等を各種メディアから抽出し、以下のとおり発信した。

(1) メディア情報

内容 : 全国紙や地方紙、web等から集めたJICA海外協力隊に関するニュース

方法 : メーリングリスト

頻度 : 1週間から10日に1回/1回あたり10件程度

件数 : 520件程度 (3月から2021年3月末までの13ヶ月/月40件程度)

(2) JOCV Update

内 容 : JICA青年海外協力隊事務局が国内機関等宛に発信している協力隊情報
方 法 : メールリスト
頻 度 : 1週間に1回/1回あたり10件程度
件 数 : 400件程度 (6月から2021年3月末までの10ヶ月/月40件程度)

5) 隊員活動の広報支援

関係団体等の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的としたレポート等を連載していたが、掲載先の都合により不定期にて掲載を継続中。

(1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会
発 行 : 月1回
内 容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿
現 況 : 不定期掲載

【受託事業】

1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約再受託に向けた諸準備を進めた。

(1) 「クロスロード」誌編集・発行業務

発注者 : 独立行政法人国際協力機構
業 務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行
現 況 : コロナ禍により発行危機になるも、編集方針変更を提案して契約履行中→企画提案や取材件数の増により業務負担も増
契 約 : 2021年8月末まで→契約を延長し2021年9月末まで

(2) 「JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援」業務

発注者 : 独立行政法人国際協力機構
業 務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、現職参加の促進・調査・相談等
現 況 : 任期短縮等の隊員増によりカウンセラー業務及び事務業務が増、また隊員活動の好事例集制作が増→変更契約により増収
契 約 : 2020年3月末まで→契約を再々延長し2021年11月末まで

(3) 草の根技術協力事業

事業名 : 初等教育カリキュラム改訂に伴う授業改善支援プロジェクト
実施国 : ミャンマー連邦共和国
現 況 : コロナ禍と現地情勢を合わせて今後の対応を検討

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確かな組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催した。

(1) 第45回通常総会

日 時 : 6月30日(火) 15:00~15:30

場 所 : 連合会館 201 会議室

議 事 : 第1号議案 2019年度決算承認の件
第2号議案 2020~2021年度役員承認の件

(2) 理事会

第1回	第2回	第3回
5月29日(金) 書面によるみなし決議	6月30日(火) 15:30~16:00 於 連合会館	12月11日(金) 15:00~17:00 於 日本青年館

(3) 常任理事会

6月期	7月期	11月期
6月30日(火) 16:00~16:30 於 連合会館	7月28日(火) 17:00~19:00 於 日本青年館⇒中止	11月10日(火) 14:30~16:30 於 日本青年館

(4) 顧問・参与会議

開 催 : 今年度はコロナ禍により中止

2) 各種交流会等の開催及び参加

(1) 「新春の集い」

開 催 : 今年度はコロナ禍により中止

(2) 各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 今年度はコロナ禍により中止

(3) 2020年度 JICA 慰霊式

日 時 : 10月15日(木) 11時~11時15分

場 所 : JICA 市ヶ谷

参 加 : 黒河内顧問

(4) 小さなハートプロジェクト支援金贈呈式

①全国電力関連産業労働組合総連合様

日 時 : 2021年2月17日(水)

場 所 : 当会事務局

参 加 : 酒井昌也氏(電力総連会長代理)ほか、松岡常任理事、熊野職員

支 援 : 600,000円

②国際ソロプチミスト東日本リジョン東京-山の手

日 時 : 2021年3月16日(火) 12:00~13:00

場 所 : ヒルトン東京

参 加 : 久保洋右子氏(ソロプチミスト東京-山の手)ほか、大石局長、石濱職員

支 援 : 50,000円

3) 会員現況

(1) 新規入会

①株式会社ノルメカエイシア

入 会 : 10月30日(金)

口 数 : 法人会員2口

関 係 : 山本会長からの紹介

業 種 : 医療機器

会員種別		人数	
社団法人	個人	337	(入会数 4)
	団体	86	(入会数 0)
	法人	27	(入会数 1)
	計	450	(入会数 3)
全国育てる会	個人/団体/法人	2,303 会員	
合計		2,753 会員	

4) 受章等

(1) 令和2年春の褒章・叙勲

①瑞宝双光章

・武藤一郎氏(元愛知県青年海外協力隊を支援する会副会長/1969-3・タンザニア・畜産加工)

(2) 令和2年秋の褒章・叙勲

①藍綬褒章

・関啓三氏(前愛媛県青年海外協力隊を育てる会会長・現顧問/セキ株式会社社長)

②旭日中綬章

・北川義信氏(元石川県青年海外協力隊を支援する会会長/株式会社ヒューテック取締役会長)

③瑞宝双光章

・鍋島一仁氏(広島県青年海外協力隊を育てる会理事/ひろしまレクリエーション協会理事長)

(3) 令和2年度外務大臣表彰

・井上俊吾氏(徳島県協力隊を育てる会会長/あさか電器株式会社顧問)

(4) 第 16 回 JICA 理事長表彰

- ・アーナンダ・クマール氏（三重県協力隊を育てる会初代会長／名城大学外国語学部教授）
- ・綿谷章氏（元長崎県青年海外協力隊を支援する会理事／1980-1・ペルー・陸上競技）

(5) 自治体表彰

①令和 2 年度茨城県表彰「生活環境の保全」

- ・笠原岳夫氏（茨城県青年海外協力隊を育てる会初代事務局長）

(6) 団体表彰

①日本医師会最高優功賞

- ・山本保博氏（一般社団法人協力隊を育てる会会長／東京曳舟病院長）

②ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区 2019 年～2020 年地区ガバナー協力感謝状

- ・一般社団法人協力隊を育てる会

5) 訃報

①立石義雄氏 4 月 21 日（火）

（京都府 JICA ボランティア応援団顧問／オムロン株式会社名誉顧問）

②武村剛吉氏 6 月 1 日（月）

（元愛媛県青年海外協力隊を育てる会副会長／元青年海外協力隊進路相談カウンセラー）

③本多康造氏 8 月 20 日（木）

（JICA ボランティアを支援するいわての会理事／1973-2・タンザニア・獣医師）

④今野庄蔵氏 2021 年 3 月 8 日（月）

（秋田県青年海外協力隊を支援する会事務局長／エルディコンサルタント株式会社社長）

6) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 ：コロナ禍により今年度は中止

場 所 ：二本松訓練所、駒ヶ根訓練所（JICA 竹橋から TV 会議利用）

概 要 ：育てる会活動の説明ならびに個人情報収集

7) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 ：コロナ禍によりオンラインにて随時実施中

場 所 ：JICA 市ヶ谷

概 要 ：育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

隊次	実施日	担当者
2018 年度 1 次隊	6 月 30 日（火）、7 月 3 日（金）、 9 日（木）、14 日（火）、28 日（火）	藤澤・渡辺
派遣期間終了および辞退・特別登録 （2018 年度 2～4 次隊）	8 月 19 日（水）、27 日（木）	渡辺

隊次	実施日	担当者
派遣期間終了および辞退・特別登録 (2018年度2~4次隊)	10月9日(金)、16日(金)、 23日(金)	渡辺
派遣期間終了および辞退・特別登録 (2018年度3次隊~2019年度3次隊)	12月9日(水)、10日(木)	渡辺
派遣期間終了および辞退・特別登録 (2018年度3次隊~2019年度3次隊)	2021年1月22日(金)、29日(金) 2月10日(水)	渡辺

8) 人事

(1) 社団事務局職員

①休職

藤澤礼香(8月24日付 事業部/事務局勤務) ※9月28日(月) 男児出産

②新規採用

渡辺翔(4月1日付 事業部/JICA市ヶ谷勤務)

高木瑞恵(7月22日付 事業部/事務局勤務)

石濱由実子(2021年2月18日付 総務部/事務局勤務/臨時職員)

③退職

三角梢恵(12月25日付 クロスロード編集部/事務局勤務)

小田原陽子(12月31日付 クロスロード編集部/事務局勤務)

熊野寛子(2021年2月28日付 事務局勤務)

(2) 全国育てる会(会長交代)

①石川県青年海外協力隊を支援する会

前) 小倉淳(小倉建設株式会社代表取締役会長/一般社団法人石川県建設業協会会長)

新) 平櫻保(みづほ工業株式会社役員/一般社団法人石川県建設業協会会長)

②山口県協力隊を育てる会

前) 岩本功(周南記念病院名誉院長/NPO法人国際医療協力山口の会会長)

新) 岩野雅子(山口県立大学大学院国際文化科学研究科長)

③宮崎県青年海外協力隊を支援する会

前) 小野睦一(元国際緊急援助隊事務局長)

新) 日高健夫(元青年海外協力隊進路相談カウンセラー/ライフピア瑞光苑代表)

(3) 全国育てる会(事務局長交代)

①愛知県青年海外協力隊を支援する会

前) 酒井信(元隊員家族)

新) 藤田昌平(名古屋市中川区自治会役員)

②鳥取県協力隊を育てる会

前) 名越善彦(公益財団法人鳥取県国際交流財団事務局長)

新) 中尾弘(公益財団法人鳥取県国際交流財団事務局長)

③山口県協力隊を育てる会

前) 於土井豊昭 (NPO 法人市民活動さぽーとねっと代表理事)

新) 吉松三男 (株式会社セトウチ山口営業所長/元隊員家族)

以上

【2020 年度事業報告附属明細書について】

2020 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

2021 年度事業計画
2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

2021 年度事業方針

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に活かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. 財政基盤の安定化
2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. JICA 海外協力隊事業を通じた「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）への貢献

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

財政基盤の
安定化

JICA海外協力隊事業の
事業価値の理解促進

全国育てる会と
JICAとの
パートナーシップ強化

JICA海外協力隊事業
を通じた
SDGsへの貢献

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの
販売

カタログギフトの
販売

協力隊グッズの
販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハートプロ
ジェクト

帰国隊員/青年支援
プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

web・SNSによる
情報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国時情報・事務
管理業務

総務活動

各種会議等の
開催

2021 年度事業計画

【重点事業】

1. 財政基盤の安定化

- 1) 「クロスロード編集・発行業務」「帰国時情報・事務管理/現職参加促進業務」の再受注

公 示 : 5月～7月(見込み)

概 要 : 原契約は9月～11月末まで/競争入札

- 2) 全国育てる会活動経費の確保

実 施 : 通年

概 要 : 活動経費の拠出を JICA と交渉

2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進

- 1) 全国ネットワークによる現地活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報

実 施 : 通年

概 要 : 「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」の継続活動

- 2) 次世代育成を目的とした青少年団体等との事業連携の実現

実 施 : 通年

概 要 : 「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」の継続活動

- 3) 企業団体向けセミナーの開催

実 施 : 通年

概 要 : 受託業務として実施

- 4) イベント等の開催

- (1) 第 46 回通常総会シンポジウム

演 題 : 地域を創る青年海外協力隊

～『青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究』から考える(仮)

日 時 : 2021 年 5 月 24 日 (月) 16:00～18:00

場 所 : 日本青年館

概 要 : (独) 国立青少年教育振興機構、JICA、当会の三者にて実施した同調査研究をもとに、協力隊経験者という人材の価値や果たすべき役割について考える

主 催 : (一社) 協力隊を育てる会

共 催 : (独) 国際協力機構、(独) 青少年教育振興機構

講 師 : 明石要一(教育学者、当会理事)、尾木直樹(教育評論家)

大西かおり（NPO 法人大杉谷自然学校長／フィリピン OG）

東恵理子（株式会社東美濃ビアワークス代表取締役社長／バングラデシュ OG）

村上徹也（独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター長）

3. 全国育てる会と JICA 海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) 応募勸奨や人材紹介業の普及協力

実 施 : 通年

2) 現地活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

実 施 : 通年

3) 全国育てる会代表者会議の開催

実 施 : 年度内の開催

4. JICA 海外協力隊事業を通じた SDGs への貢献

1) カレンダーの制作・販売

概 要 : 帰国隊員から提供される写真を使用したオリジナルカレンダー

仕 様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り（28P）／オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数 : 9,000 部（予定）

制 作 : 5 月～8 月

販 売 : 9 月中旬（予定）

【理解促進事業】

1) 各種イベントの開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、社会情勢に合わせながら帰国隊員の活動報告会をはじめとするイベントを開催する。

(1) 家族交流会

実 施 : 社会情勢に合わせてオンライン開催等も検討

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者

(2) 帰国報告会

実 施 : 社会情勢に合わせてオンライン開催等も検討

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者、社会貢献団体、企業・団体関係者等

2) 「持続する情熱」等、協力隊関連書籍の拡販

(1) 東京 2020、青少年団体、協力隊採用に関心をもつ自治体等への働きかけ

実施 : 通年

概要 : JICA の支援を得て下記団体等へ「持続する情熱」等を寄贈し、協力隊事業への理解促進をはかる。

- ・ 隊員派遣国とホームタウン協定を結んでいる自治体 (約 200 市町村)
- ・ 青少年団体 (『青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究』報告書と併せた送付の働きかけ)
- ・ 外国人支援業務等で帰国隊員の採用に関心をもつ自治体

(2) 隊員家族等への販売

実施 : 通年

概要 : 当会主催事業参加者等を対象に「持続する情熱」等を販売

3) 協力隊関連グッズの販売

実施 : 通年

概要 : 協力隊 T シャツ、JOCV & SDGs バッチの販売

4) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売する。

ブランド : 「GLOBAL SPROUT」 (グローバルスプラウト)

概要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

備考 : カタログ仕様等の見直しとリニューアル検討

5) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

(1) 協力隊まつり 2021

主催 : 協力隊まつり実行委員会

日時 : 4月24日(土)~25日(日) 10:00~17:00

場所 : オンライン (Zoom)

(2) 第 92 回メーデー中央大会

主催 : 第 92 回メーデー中央実行委員会

実施 : 4月29日(木祝)

場所 : 代々木公園

(3) サマーコンファレンス 2021

主催 : (公社) 日本青年会議所

実施 : 7月17日(土) ~ 18日(日)
場所 : パシフィコ横浜 (ハイブリッド開催)

(4) グローバルフェスタ 2021

主催 : グローバルフェスタ実行委員会
実施 : 9月末?
場所 : 未定

(5) キッズフェスタ

主催 : ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
実施 : 未定
場所 : 未定

(6) 第19回日比谷公園ガーデニングショー2021

主催 : 日比谷公園ガーデニングショー実行委員会
実施 : 未定
場所 : 未定

(7) SEISA Asia Africa Bridge

主催 : 公益財団法人世界こども財団
実施 : 11月
場所 : 未定

(8) 2022年度京都会議

主催 : (公社) 日本青年会議所
実施 : 2022年1月
場所 : 国立京都国際会館 (ハイブリッド開催)

6) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実施 : 通年
概要 : 就職や転職、進学等へのアドバイス

(2) 婚活イベントの開催

実施 : 未定
場所 : 未定
備考 : 開催要望の声が多いことから他行事との共催を含めて検討

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を日本全国から募る事業だが、協力隊員の再派遣状況に合わせて適宜対応する。

支援金額：1件につき上限 300,000 円

支援件数：状況に応じて

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：2,700,000 円

募集期間：7月1日（木）～8月31日（火）

審査選考：選考委員会にて10月頃実施

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象に、返済義務を付した奨学金を給付し支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：1,000,000 円

募集期間：7月1日（木）～8月31日（火）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

4) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：状況に応じて決定

給付時期：状況に応じて決定

対象事業：以下の4事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数 : 約 4,000 部/毎月 (赴任中の協力隊員には PDF 配信)

仕様 : モノクロ/タブロイド版/4 ページ

構成 : 1 面～最新トピックス

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面～各種インフォメーション

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報 (告知及び報告等) の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メールングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 隊員活動の広報支援

関係団体等の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的としたリポート等を発信する。

(1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

現況 : 今後の掲載仕様については発行者と協議して決定

【受託事業】

1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約の再受注を目指す。

(1) 「クロスロード」誌編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行

公示 : 5月

(2) 「JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援」業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、カウンセラー業務、人材紹介業等

公示 : 7月?

(3) 草の根技術協力事業

事業名 : 初等教育カリキュラム改訂に伴う授業改善支援プロジェクト

実施国 : ミャンマー連邦共和国

状況 : コロナ禍と現地情勢を合わせて今後の対応を検討

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第46回通常総会

開催日 : 5月24日(月) 14:00~

場所 : 日本青年館

【プログラム】

第1部 通常総会 (14:00~15:30)

第2部 シンポジウム「地域を創る青年海外協力隊(仮)」 (16:00~18:00)

第3部 交流会 (18:30~20:00)

(2) 理事会

年3回の開催(5月、12月、2022年3月)

(3) 常任理事会

原則として四半期ごとに開催

(4) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2022年1月

場 所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 随時

場 所 : 都内

3) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 : 随時

場 所 : 二本松訓練所、駒ヶ根訓練所 (JICA 竹橋から TV 会議利用)

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

4) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 随時

場 所 : 都内

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

以上

2021 年度収支予算
2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日（決算）まで

2021 年度収支予算

(単位:円)

	科 目	2020予算 (A)	2021 予算 (B)	(B)-(A)	備 考
	事業活動収入				
1	基本財産運用収入	1,000	1,000	0	定期預金
2	入会金収入	50,000	55,000	5,000	
3	会費収入	3,000,000	4,600,000	1,600,000	個人、法人、団体
4	研修会費収入	655,000	615,000	△ 40,000	新春の集い、JICA表彰
5	広告料収入	1,000,000	1,500,000	500,000	育てる会ニュース
6	手数料収入	5,551,000	4,960,000	△ 591,000	会員発送・管理、紹介、グッズ、記念誌
7	カレンダー販売収入	3,930,000	4,300,000	370,000	9千部
8	帰国隊員等支援受託収入	35,000,000	46,115,000	11,115,000	無料職業紹介人員、カウンセラー5名
9	クロス編集業務等受託収入	50,280,000	50,395,000	115,000	年12冊
11	その他受託収入	6,500,000	4,390,000	△ 2,110,000	JICAパンフ等
12	助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13	寄付金収入	0	10,000	10,000	一般寄付
14	グローバルプラウト	500,000	150,000	△ 350,000	
15	雑収入	6,314,000	2,252,000	△ 4,062,000	調整員派遣手数料
	経常収益合計	115,781,000	122,343,000	6,562,000	
	事業活動支出				
16	給与手当	44,611,000	45,640,000	1,029,000	無料紹介人員増、臨時職員
17	退職掛金	1,080,000	1,380,000	300,000	
18	福利厚生費	6,523,000	6,715,000	192,000	社会保険等
19	旅費交通費	1,790,000	1,340,000	△ 450,000	スィカ、セミナー、各県催事
20	通信運搬費	7,367,000	6,989,000	△ 378,000	クロス発送、ギガポット、Zoom
21	会議費	287,000	200,000	△ 87,000	
22	修繕費	980,000	1,000,000	20,000	コピーアウト、PCメンテナンス、ネットワーク保守
23	印刷製本費	9,809,000	9,615,000	△ 194,000	クロス、カレンダー、ニュース
24	賃借料	5,403,000	5,455,000	52,000	家賃、OA機器リース、書類保管
25	光熱水費	552,000	520,000	△ 32,000	電気、水道
26	保険料	54,000	50,000	△ 4,000	火災保険、団体福祉
27	諸謝金	1,716,000	2,680,000	964,000	クロス原稿、日本も元気パンフ
28	消耗品費	250,000	300,000	50,000	
29	租税公課	3,515,000	4,153,000	638,000	消費税、人材紹介登録、登記
30	減価償却費	39,000	188,000	149,000	建物付属施設
31	仕入高	540,000	200,000	△ 340,000	記念誌
32	支払負担金	2,052,000	2,471,000	419,000	社労士、税理士、会費、Pマーク
33	支払助成金	6,220,000	6,200,000	△ 20,000	三菱、各県助成、
34	委託費	19,348,000	23,361,000	4,013,000	CS5名、クロスデザイン、校正、パンフ、ニュース
35	雑費	3,645,000	3,886,000	241,000	JICA受託関連、各県慶弔他
	経常費用合計	115,781,000	122,343,000	6,562,000	
	事業活動収支差額	0	0	0	

第 1 号議案：2020 年度決算承認の件
監事監査報告書

決 算 報 告 書

(第 8 期)

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	1,008	1,356	△348
基本財産受取利息	1,008	1,356	△348
受取入金会金	54,000	73,000	△19,000
受取入会金	54,000	73,000	△19,000
受取会費	4,609,200	6,978,531	△2,369,331
正会員受取会費	4,609,200	4,951,000	△341,800
研修会受取会費	0	2,027,531	△2,027,531
事業収益	103,653,686	100,007,507	3,646,179
広告料収入	1,526,800	3,525,940	△1,999,140
手数料収入	4,384,929	5,458,470	△1,073,541
カレンダー等販売収入	4,538,200	4,990,090	△451,890
帰国隊員等支援受託収入	40,349,245	34,508,394	5,840,851
クロス編集業務受託収入	50,328,814	50,280,121	48,693
クロス差込収益	0	188,704	△188,704
GLOBAL SPROUT	187,720	631,369	△443,649
その他の受託収入	2,337,978	424,419	1,913,559
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	6,559	1,307,615	△1,301,056
受取寄付金	6,559	1,307,615	△1,301,056
雑収益	6,487,976	5,141,056	1,346,920
受取利息	93	79	14
雑収益	6,487,883	5,140,977	1,346,906
經常費用	117,812,429	116,509,065	1,303,364
事業費	97,383,578	101,835,912	△4,452,334
給料手当	36,454,870	37,632,139	△1,177,269
退職共済掛金	918,000	864,000	54,000
福利厚生費	5,630,822	6,147,035	△516,213
旅費	1,173,149	2,584,785	△1,411,636
通信費	6,426,647	6,368,014	58,633
会議費	0	5,860	△5,860
消耗品費	7,073	0	7,073
修繕費	715,735	716,996	△1,261
印刷製本費	9,934,893	10,136,480	△201,587
仕入高	19,440	93,852	△74,412
光熱水料	266,425	276,212	△9,787
賃貸借料	2,421,010	2,436,358	△15,348
保険料	36,240	99,010	△62,770
諸謝金	2,340,000	1,659,833	680,167
支払助成金	6,002,000	7,433,209	△1,431,209
委託費	21,978,136	19,556,240	2,421,896
雑費	3,059,138	5,825,889	△2,766,751
管理費	20,275,421	19,251,987	1,023,434
給料手当	6,769,033	4,866,921	1,902,112
退職共済掛金	222,000	216,000	6,000
福利厚生費	1,045,546	794,988	250,558
旅費	118,660	280,356	△161,696
通信費	105,301	216,606	△111,305
通搬費	521,328	846,437	△325,109
減価償却費	208,156	187,968	20,188

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消 耗 品 費	286,965	256,294	30,671
修 繕 費	181,007	193,797	△12,790
印 刷 製 本 費	89,952	101,470	△11,518
光 熱 水 料 費	266,424	276,211	△9,787
賃 借 料 費	3,007,766	3,119,214	△111,448
保 険 料	18,540	17,290	1,250
諸 謝 金	6,000	10,000	△4,000
租 税 公 課	4,722,000	4,075,550	646,450
支 払 負 担 金	1,933,385	2,842,937	△909,552
為 替 差 損	0	6,187	△6,187
雑 費 計	773,358	943,761	△170,403
経 常 費 用 計	117,658,999	121,087,899	△3,428,900
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	153,430	△4,578,834	4,732,264
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	153,430	△4,578,834	4,732,264
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	153,430	△4,578,834	4,732,264
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	70,000	70,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	83,430	△4,648,834	4,732,264
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	40,246,519	44,895,353	△4,648,834
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	40,329,949	40,246,519	83,430
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	40,329,949	40,246,519	83,430

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	897,217	704,729	192,488
現普通預金	25,951	25,606	345
未収会費	871,266	679,123	192,143
未前貯商立預	60,000	140,000	△80,000
未前貯商立預	18,721,429	14,778,405	3,943,024
未前貯商立預	0	371,192	△371,192
未前貯商立預	49,789	47,241	2,548
未前貯商立預	1,298,370	1,493,704	△195,334
未前貯商立預	1,000,460	136,407	864,053
未前貯商立預	2,000	2,000	0
流動資産合計	22,029,265	17,673,678	4,355,587
固定資産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
特定資産			
奨学貸付引当資産	2,250,000	6,350,000	△4,100,000
特定資産合計	2,250,000	6,350,000	△4,100,000
その他固定資産			
建物附属設備	1,992,503	2,180,493	△187,990
什器備品	89,834	0	89,834
長期前払費用	1,770,558	1,770,558	0
奨学貸付金	270,502	0	270,502
その他固定資産	1,750,000	1,650,000	100,000
その他固定資産合計	5,873,397	5,601,051	272,346
固定資産合計	28,123,397	31,951,051	△3,827,654
資産合計	50,152,662	49,624,729	527,933
II 負債の部			
流動負債			
未前預未払消費税法人税等	4,475,195	5,490,161	△1,014,966
未前預未払消費税法人税等	682,000	771,200	△89,200
未前預未払消費税法人税等	1,958,118	505,749	1,452,369
未前預未払消費税法人税等	2,637,400	2,541,100	96,300
未前預未払消費税法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	9,822,713	9,378,210	444,503
負債合計	9,822,713	9,378,210	444,503
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	40,329,949	40,246,519	83,430
負債及び正味財産合計	50,152,662	49,624,729	527,933

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
奨学貸付引当資産	6,350,000	0	4,100,000	2,250,000
合 計	26,350,000	0	4,100,000	22,250,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,398,259	405,756	1,992,503
什器備品	110,000	20,166	89,834
合 計	2,508,259	425,922	2,082,337

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	奨学貸付引当資産	6,350,000	0	4,100,000	2,250,000

2021年4月27日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 山本 保博 殿

監事 福龍 健一 
監事 中村 義人 

私たち監事は、第8期事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

